

ごあいさつ

愛西市長 日永 貴章

時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

常日頃は、愛西市政に対し、ご理解とご協力いただき感謝申し上げます。

「平成30年度愛西市青少年国際交流事業」として、8月16日（木）～8月22日（水）の7日間の日程で、生徒12名を含む総勢16名で、アメリカ合衆国カリフォルニア州へ出かけました。

この事業は、サクラメント愛知県人会との交流を継承しつつ、前途多望な生徒に異文化を肌で感じ、今後ますます進展する国際交流、多文化共生社会への理解をより一層深め、次世代のリーダー育成を目的に実施しております。

異国の地に初めて足を踏み入れる生徒も多く、今回の事業を通し、見聞を広め、学びを深めることができたものと感じております。

さて、今般団長として3回目の事業参加となりましたが、新たな発見、感動、そして再会を果たすことができました。

ロサンゼルスでは、日本企業を訪問し、異国の地での暮らしや企業戦略などを実際に伺い、今後の行政運営のヒントを得ることができました。全米日系人博物館においては、改めて先人のご労苦が心に染みると同時に、歴史を学ぶことは現在を知ることにつながると痛感いたしました。

サクラメントに降り立ち、山内前会長、水島ご夫妻をはじめサクラメント愛知県人会の方々には再会を果たしたときの安堵の気持ちは忘れがたく、この事業を通じたご縁に深く感謝をする次第です。

今回は、生徒のホームステイも県人会はじめ現地の方のご協力により、さらに充実したものとなりました。交流レセプションでは、歓迎に対する感謝の気持ちを伝えるとともに、本市との絆を深めることができ大変感動的でありました。

参加した生徒たちにとって、「実際に触れた」この経験は、今後の人生でかけがえない道しるべとなるでしょう。

是非、本事業の意義を広く市民の皆様にもご理解いただき、次世代を担う人材づくりの一役を担える事業として末永く継続できることを願っております。

結びになりますが、山内前会長、派遣先での受け入れなど多大なるご協力をいただいた水島ご夫妻、ホストファミリーをつとめていただいた皆様をはじめ本事業の実施にあたり様々なご協力をいただいた愛西市青少年国際交流事業協議会の委員各位、また、渡航に対し深い理解をお寄せいただきました保護者の皆様方に、心より感謝申し上げます。